

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第37号
2024年3月28日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 大友靖子

2年目を迎えた当プロジェクトは地域の寂しさを感じる課題に立ち向かい、昨年度までの外向きのPRから一転、地域内部の活性化に焦点を当てたところから、新たなアイデアが生まれました。

今年度の活動は、リニューアルされ掛田駅に設置されたチンチン電車を活用することから始まりました。これに乗じて地域の盛り上げを図るアイデアが模索されました。その結果、「かけまるプロジェクト」が誕生し、地域の人が参加する「かけまるワークショップ」を開催する運びとなりました。

ワークショップでは、街の歴史やキャッチコピーの要素を取り入れ、テーマを「まる」に設定。掛田周辺の学校などと協力し、参加者が描いた「丸」が集まり、最終的に499個の丸が生まれました。次に、これらの丸を使用して街のシンボルフラッグを制作するステップが実施されます。

フラッグは商店街の街路灯70基に掲示され、デザインは伊達市のキャッチコピーである「幸せの数珠つなぎ」に基づき、街全体が連結して電車を形成する構想です。自分の思



描いた丸を探し楽しみも加わり、地域全体が自分ごととして一丸となる雰囲気を出すことを狙っています。掛田を訪れる人にもキャッチー（※受けそうであること）で親しみやすい新たな地域アイコンとして成長していく可能性を秘めているのではないかと思います。

最後に、今回のプロジェクトの中で最も大きな成果と捉えているのは、地域の課題に対するアイデアが形を変えながらも成長し、地域住民の方々の巻き込み、つながりを新たに生み出す大きなプロジェクトへと発展したことでした。

そしてこれは地域の方々のご協力あってこそのものでした。お力添えくださった方々に感謝申し上げます。

東京藝術大学
大学院
福澤佑哉



ライオンズクラブの力を借りて

掛田を彩るシンボルフラッグ「かけまる」

2月17日(日)、福島県主催「大学生と集落の協働による地域活性化事業」活動報告会が、福島市「グリーンパレス」で行われました。2年間に及ぶ東京芸術大と掛田自治協議会の活動の成果を、学生を代表して福澤佑哉さん・有馬彩創さんの二名が発表しました。

「かけまるプロジェクト」と称し行われたワークショップに掛田町内外から参加し、思い思いに描いた499個の「まる」で掛田駅に設置されたチンチン電車をモチーフに製作された「掛田のシンボルフラッグ」について、霊山ライオンズクラブの協力を頂き町中の街路灯へ設置した活動についての報告となりました。

発表団体は21グループに及び藝大生と掛田地区の方々の巻き込んだ活動は多くの参加者から高い評価を頂きました。

終了後は藝大生と掛田地区代表の5名で交流が行われ、2年間の活動振り返り感謝とお礼の思いを語り合いました。この事業は今回をもって終了となりますが、藝大生の2人からは、掛田への思いとこれからの繋がりを持つことの希望も語られました。

地域づくり部会部長 八島豊吉

https://date.videog.jp/f/date240308
伊達市ケーブルテレビの「こんにはだて ダイジェスト 令和6年3月の放送内容」の3月8日分の動画です。



茶白山の野鳥紹介

春の初夏



桜の名所として有名な茶白山で、春から初夏に山で鳴いている野鳥を紹介したいと思います。

「フイ、フイ」と鳴いている鳥が居たらウソという鳥です。桜の花芽を食べています。桜の木の上の方に5、6羽くらい群で居ます。雄は首が赤いです。「ツツピー、ツツピー」と聞こえたらシジュウカラかヤマガラです。一年中居る可愛い鳥で、春になると一斉にさえずります。ウグイスもさえずっています。ウグイス色(黄緑色)の鳥を見たらそれはメジロです。ウグイスの羽の色はほぼ灰色です。メジロも複雑にさえずっています。

春になると綺麗な羽を持つキビタキもやって来て美しくさえずります。樹木の新芽がはじめる頃に渡ってきます。渡ってきたばかりの時は低い位置に居ることが多いので見つけやすいです。

一年を通してみると茶白山には30種類以上の野鳥がやって来ます。双眼鏡を持って散策するのがお勧めですが、鳴き声を聞くだけでも面白いですよ。

地域づくり部会 斎藤全史



- ### ～イベントのお知らせ～
- 茶白山山開き
 - ・令和6年4月6日(土)
 - ・茶白山観音堂御開帳
 - ・第1回茶白山山開き記念 缶バッジプレゼント(山頂にて先着150名)
 - ・甘酒の振舞い(茶白山観音堂にて先着150名)
 - 茶白山さくらまつり
 - ・霊山りんどうコーラス
 - ・梁川オカリナ愛好会(オカリナ演奏)
 - ・Miho&Reina(フルート&ピアノ演奏)
 - ・お茶会
 - ・振舞い餅
 - ・さくらまつりマルシェ(13店舗出店)
 - 春の全国交通安全運動
 - ・令和6年4月6日(土)～4月15日(月)
 - 「挙げる手をやさしく見守る横断歩道」
 - 子ども食堂
 - ・4月27日(土)、5月25日(土)、6月29日(土)
 - 午前11時半～無くなるまで
 - 霊山中央交流館
 - ラジオ体操会のお知らせ
 - ・令和6年5月5日(日)～6月30日(日)の毎週日曜日
 - 午前6時30分～ 霊山中央交流館玄関前

4月は新一年生、新入学園児を迎える時期になります。

霊山地域交通安全協議会、交通安全協会では新しく学びが始まる時期を捉えて、交通安全教室を各学校、幼稚園、こども園で実施しております。

小学校校長先生に対し警察署長、交通安全協会会長から連名で交通事故防止のお願いをして、新6年生には、通学時の交通事故防止や家庭での役割について委嘱して誓い新たなスタートを切ります。

また、こども園、幼稚園では、交通安全ののぼり旗の贈呈式や交通安全のお話をして交通事故に合わないよう交通安全教室が開催されています。

4月8日の入学式から15日まで新入学児童の交通安全運動を実施します。

ドライバーの皆さんは子供が交通事故に遭わないように細心の注意で運転をお願いいたします。

交通安全協会 霊山部会長 森久保 操

新入学児童・園児の交通安全



読者の声

「心のより所として 後世に伝えたいもの」

今年中学校へ入学する子どもたちの多くは、震災の年に生まれた子たちである。まずは様々な困難を乗り越えて、ここまで育ててこられたご両親、ご家族に敬意を表し、中学校入学を迎える子たちには祝福を捧げたい。この子たちに代表されるように、震災を知らない世代が増えると共に、甚大な被害を受け、いまだ復興半ばであっても、その記憶と教訓が少しずつ薄れていく。

山際の畑の中で、樺の木の根元にあった小さな墓石が、この部落に來た最初のご先祖のお墓だと子どもの頃に教えられたが、その話を詳しく



知りたくても、墓は合祀され、教えてくれる祖母も父母も亡くなってしまった。一つの小さな記憶が消えてしまった。あれほどの震災の記憶ですら薄れていくのだから、一個人、一地域の小さな記憶が消えてしまうのは当然なのかもしれない。けれども、先祖の来歴や、幼い頃から親しんできた地域の歴史や文化遺産は、心のより所であり、自分の生に新たな意味と誇りを与えてくれるものであり、忘れたくないものではないか。

去年四月に刊行され全戸に配布された『掛田の歴史ガイド』は、掛田の歴史的文化的な遺産の集大成と言えるものであり、掛田住民として他地区に誇れるものである。心のより所として子や孫に伝えていきたいものである。

社会教育部会 渡邊邦彦

編集後記

皆さんのご協力で「掛田の広場」37号が発行できました。

今年度の活動集大成と言える「かけまる」プロジェクトを始め、掛田のシンボル茶白山話題を取り上げました。また、「子ども食堂」「マルシェ」を通じて中央交流館を拠点に地域の賑わいの様子をお伝えしております。

これから、初めての「茶白山山開き」や「さくらまつり」など引き続きイベントが予定されています。

地域の皆さんの日頃の話題も取り入れた広報紙を目指しております。これからもご支援、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

「りょうぜんマルシェHONO4」さくらまつり・いちえいひなまつり」開催

令和6年3月3日(日)、霊山中央交流館で10時から14時の間、「りょうぜんマルシェ2024 いちえいひなまつり」を開催させて頂きました。お天気も良く多くのお客様のご来場の中、オープニングは霊山中学校吹奏楽部の皆様の演奏により華やかなスタートとなりました。出店は「地元」のフルーツを使用したスイーツ「地元」



多くの人で賑わったマルシェ会場



霊山中学校吹奏楽部の演奏

で採れた野菜「地元」のサークル・団体による物販「この日に合わせた特製お弁当」「多方面から集まったキッチンカー」などがあり、それぞれに大盛況だったと思います。また、ひなまつりという事もあり、ご来場いただいたお子様には「おりがみ」「射的」「プラバンによるキーホルダー作成」「ポッチャ」など体験型のコーナーを設け、大いに賑わっていました。特徴としてテレビ番組やSNSでのPRの影響などで、他地区から若い家族の方々が多く来られていたように感じました。これからも掛田の賑わいを創出していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご支援をお願い致します。

掛田中央交流館の自衛消防訓練

3月14日(休)午後2時から自衛消防訓練が行われました。この訓練は、火災や地震など災害発生時に人的、物的被害を最小限に止めるために自衛消防隊で消防車が到着するまでの間、通報、初期消火の訓練を定期(年2回)に実施しています。今回は「1階調理室でガス調理器から火

が発生」初期消火で対応出来ず、燃え広がったとの想定で実施されました。119番へ通報し、霊山総合支所にも連絡、交流館を利用しての方々にも参加頂き25名を避難場所の駐車場へ誘導をしました。終了後、伊達消防組合東分署から講評を頂き、結果は当初の目的通り実施できました。併せて消火訓練で消化器の使い方の実技講習も行いました。

環境防災部会 森久保操

茶臼山に手作り道標建てました

「小学生の時の遠足は茶臼山だった。」「茶臼山で家族揃って花見をした。」「と、誰もが話す掛田のシンボル茶臼山。桜の蕾がふくらみはじめると頂上近くの北側斜面には、春を告げるカタクリの花が一面に咲きはじめる。「懸田城」があった歴史のある山。大雪でつぶれた『懸田御前の観音堂』も有志の方々により建立されました。しかし、最近では桜の木も老木になってしまいツルが巻きついたり、松喰い虫によって枯れてしまった樹齢百年を超えるであろう松の太木は、先日の大風で4本も倒れてしまいました。

地域の皆さんもぜひこの春、茶臼山へお友達、ご家族、誘い合って登ってみて下さい。そして出来たてホヤホヤの頂上の看板の前で記念写真を撮って下さい。

掛田自治協議会会長 大友靖子



「さくらまつり」で来町された方から「茶臼山への道がわからない。」「頂上までの道案内があるといい。」「とのご意見を頂き、霊山ライオンズクラブ、掛田財産区、掛田自治協議会で茶臼山懇談会を立ち上げ話し合いをし、茶臼山の整備を少しずつ進めて参りました。そしてこのたび、茶臼山に十数ヶ所、有志手作

さくらまつり やります

「桜の開花予想では、例年よりずっと早い。」「今年のは桜早いとお。」「はてさて今年のさくらまつりをいつにしましょう。そして、先日の実行委員会では「茶臼山さくらまつり」は4月7日(日)、前日4月6日(土)は初の茶臼山・山開きをする」と決定しました。地域の皆さんが参加し楽しんでほしい。雲山中央交流館から愛する茶臼山も格別です。「皆さあーん。今年も茶臼山さくらまつりをやりますあーす。」町登山愛好会の皆さんの協力

を頂き、茶臼山へ登ります。餅つきをし、ふる舞い餅もあります。大ホールでは、霊山りんどうコーラスさんによる『さくらの茶臼山』と数曲の合唱ステージがあります。茶道クラブさんによる春の茶会です。茶道クラブさんによる春の茶会です。さくらまつり実行委員会ではまだまだ楽しい企画をしています。ポカポカあったかい桜色の春は、もうそこまで来ている。大いに掛田の春を楽しみましょう。

掛田自治協議会会長 大友靖子

よりそい食堂

令和5年1月にオープンした子ども食堂・みんなの食堂「よりそい食堂りょうぜん」。



J A女性部担当 菅野照実

J Aふくしま未来霊山資料センター隣の工房まごころ前でJ A女性部員が月に一度開催しています。女性部員や組合員さんから寄付して頂いた地域の農産物を使用して、伝統料理や季節の行事食なども取り入れ、テイクアウト(弁当)形式で実施。お弁当の中にはいろいろ食べさせたいと、ご飯の他ほか揚げ物や煮物、あえ物、漬物などの惣菜が10種類になることもあります。開店前には販売を待つ方々の列ができ、開店直後に売切れるほど大盛況。よりそい食堂「りょうぜん」代表の菅野富美子さんは「子供だけでなく地域の方々、特に高齢者の方々が気軽に来られるような場所にしていきたい。毎月顔を見せたくださる方も多く、月に一度の開催が楽しみ」と話します。

J A女性部担当 菅野照実

食堂は、毎月第2水曜日、午後4時～
★大人300円
★子ども(中学生以下)無料で販売



第7回の伊達市老人クラブ「カローリング大会」

2月28日(内保原体育館で行われた「カローリング大会」。今年で第7回を数えました。カローリングはオリンピック種目である「カローリング」とほぼ同じですが、氷上でなく体育館などで行えるスポーツです。体を動かす機会の少ない冬の間。年配者にとっては格好のスポーツでもあります。簡単にできることもあり、年々愛好者が増えています。



伊達市老人クラブ 八島豊吉

一応親善とはいいながらも大会です。各町の代表チームも試合が始まると気合いっぱい。幸い霊山中央交流館にはカローリングセットが2台あり、我が霊山町チームも2回の練習会を経て臨みました。一喜一憂しながらのゲームは熱戦の連続でした。中心に入り(3点得点)ガッツポーズの間もなく、相手チームから押し出されてしまいガツクリの場面や、1点差での薄氷の勝利にチームに笑顔の場面も。結果は霊山チームは4勝3敗で、8チーム中4位の結果でした。皆さん来年こそはと帰路につきました。

スポーツに文化に「はつらつ教室」開催

一月はニュー・スポーツ「ポッチャ」を楽しんだ。「ポッチャ」は障害者も手軽に楽しめるスポーツとしてオリンピック種目になり、日本選手がメダルを得て注目をあびるようになりました。社会福祉協議会スタッフからルールの説明があった後、辰年にちなんだ「ドラゴン」や「ウサギ」等のニックネームを付けて四班に分かれ、2ゲーム競いました。



健康福祉部会部長 八島利幸

初めは打球の力加減が分からずコートからはみ出すことも多かったと多かったです。二回、三回打球する毎に相手ボールをはじき出せるまでに、自チームのボールが的により近づくと、歓声が大きくなりました。二月は、伊達市のスポーツプロモーションの藤田さんが高齢者向けの転倒防止や足回りの筋力向上になる運動を講義されました。参加者は家庭においても継続することで健康増進が期待できます。また、認知症予防に良いとされる脳と手足の反対同時運動等を行いました。その後、「貝雛づくり」に挑戦しました。制作時間が短い中で頑張って完成させ「楽しかった」の声が聞かれました。

健康福祉部会部長 八島利幸

救命講習会(救命入門コース)開催

3月9日(日)出霊山中央交流館において中央消防署東分署の隊員の方を講師に救命講習が行われました。14名の方々が参加し、最初に人が倒れてから救命処置を行うまでを動画で学びました。

次に胸骨圧迫(心臓マッサージ)です。1分間に120回のテンポで強く早く絶え間なく行います。人工呼吸の出来る人は胸骨圧迫30回人工呼吸2回のテンポで行います。人工呼吸を行う場合は感染防護具を使うこと。口と口が接触することに躊躇するときは省略しても良いと話されています。最後にAEDです。AEDは心停止した心臓に電気ショックを与え、心臓の鼓動を正常に戻す救命器具です。AEDはケースを開けると同時にスイッチが入り、音声ガイドで扱い方を教えてくれます。電気ショックが必要な判断も教えてくれます。音声ガイドに従うだけなのでとても簡単。電気ショック後は直ちに心肺蘇生を再開します。



総務企画部会 佐藤邦宏

人が倒れてから救急車が来るまでに心肺蘇生を行い、AEDを使用し除細動を実施し、その後の生存率、社会復帰率が高くなることを学んだ一日でした。